

## 社会システム学科1年次「個人別時間割表」作成のポイント

クラスにより多少異なりますが、「個人別時間割表」作成の要点（ポイント）は下記の通りです。

- 基本クラス（組）は「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」のクラス（A～R）です。
- 各科目区分の卒業必要単位数を頭に入れておく。→枠の下の1～3参照
- 必修科目から「2025年度開講科目表」で曜日・講時を調べ、時間割表に記入する。  
下記の1. 必修科目はクラスが指定されているので「2025年度開講科目表」の指定クラス欄を確認し、登録すること。（選択必修の「スポーツ・健康科目」も体育実技A・Bを履修する際はクラス指定あり）
- 次に、選択必修科目、選択科目の順に「2025年度開講科目表」の開講科目表で曜日・講時を調べ、時間割表に記入する。
- 「卒業に必要な単位」124単位と「各科目区分の卒業必要最低単位数の合計」106単位との差18単位は、どの科目区分からでも自由に選択できます（区分外領域→「3」参照）。
- 登録した授業科目の合計単位数が、年間49単位（1学期期間の上限は28単位）以内になるように調整する。ただし、教職に関する科目、他大学等の単位互換科目および自由選択科目等の単位数は上限に含まない。
- 時間割表を作成した結果をもとに、指定された日時にWeb教務システムから登録する。

### 1. 必修科目

**基礎・入門科目** 「基礎演習Ⅰ・Ⅱ」「現代社会入門Ⅰ・Ⅱ」「シティズンシップ入門」「社会リサーチ入門」  
※「基礎演習Ⅰ」と「現代社会入門Ⅰ」（春学期）、「基礎演習Ⅱ」「現代社会入門Ⅱ」（秋学期）は、それぞれ同じ曜日講時に隔週開講されます。同じ曜日講時に2科目を履修登録してください。（但し2科目は同じ教室ではないので要注意）

→履修要項 p.54

**キリスト教・同志社関係科目** 「聖書A・B」

**外国語科目** 「Comprehensive EnglishⅠ・Ⅱ」  
「Communication in EnglishⅠ・Ⅱ」

→履修要項 p.58

【英語特別プログラム（CASE）受講生のみ】

**コミュニケーション系科目** 「Communication SkillsⅠ・Ⅱ」

※CASEプログラムの必修扱い科目は、『2025年度現代社会学部履修要項』P.59参照ください。

※1、2年次のCASE科目をすべて修得した場合には、3年次に『CASE修了証』が授与されます。

→ CASEプログラム・プラクティショナー修了

※3年次以降も履修できる追加プログラムもあります。

→ CASEプログラム・スカラー修了

## 2. 選択必修科目

### 概論科目 →履修要項 p.54

A～Eの5つの科目群のうち、最低3つの科目群にわたって8単位以上（4科目）修得してください。

- A群 「社会学概論」、「文化人類学概論」
- B群 「京都観光学概論」、「京都学概論」、「博物館概論」
- C群 「教育学概論」、「心理学概論」、「社会福祉学概論」
- D群 「経済学概論」、「経営学概論」
- E群 「法学概論」、「政治学概論」 (各2単位)

これらの内、授業全てが遠隔授業オンデマンド方式で実施され、時間割が7時間目に設定されている科目がありますが、実際の動画配信時刻は時間割と異なりますので、担当教員に確認してください。

※2年生からのコース選択の検討材料とするために幅広い領域(科目群)の概論科目を履修してください。

### キリスト教・同志社関係科目 →履修要項 p.58

キリスト教・同志社関係科目は1年次必修科目「聖書A・B」(各2単位)を含めて、卒業までに最低6単位以上修得しなければなりません。選択必修科目は1年次から開講しています。

### スポーツ・健康科目 →履修要項 p.60

卒業までに選択必修で最低2単位以上を修得しなければなりません。

「体育実技A・B」(各1単位)を履修する場合はクラスが指定されているので、「2025年度開講科目表」の指定クラスの欄を確認の上、登録してください。

### データサイエンス・AI科目 →履修要項 p.60

「データサイエンス・AI基礎」(遠隔オンデマンド型授業)と「データサイエンス・ICT活用基礎」(対面授業)のいずれかの科目を選択必修で、最低2単位以上を履修しなければなりません。「データサイエンス・ICT活用基礎」は、定員のある科目ですので、登録者が多い場合は受講できないことがあります。なお、「データサイエンス・AI基礎」の時間割は、「月7」に設定されています。授業全てが遠隔授業オンデマンド方式で実施されますが、実際の動画配信時刻は時間割と異なりますので、担当教員に確認してください。

「データサイエンス・AI基礎」: データサイエンスとAIについて、社会での活用事例と実践、データ・AIを扱う上での法的・倫理的な留意事項、データを統計的に扱う方法(データリテラシー)などの内容を網羅的に学ぶ。

「データサイエンス・ICT活用基礎」: データサイエンスの基礎となる知識・技術を表計算ソフトやプレゼンテーションソフト等を使って実践的に学ぶ。

※教職課程の選択必修科目

### 外国語科目 →履修要項 p.58

英語以外の外国語を、フランス語、ドイツ語、中国語、イタリア語、スペイン語、ハンガルの6言語の中から1言語を選択します。「初級〇〇基礎Ⅰ・Ⅱ」と「初級〇〇演習Ⅰ・Ⅱ」を、中国語は、「初級中国語基礎」と「初級中国語演習」をセットで登録することになります。

## 2025年度入学生

また、高度な語学運用能力を身につけるために、2年次から各言語の中級クラスを選択科目として履修することができます。

※ドイツ語の履修を考えている方で、ビジネス系概論科目の「経済学概論」「経営学概論」の履修を考えている方は、時間割が重複しますので、現代社会学部事務室に申し出てください。

### リテラシー科目→履修要項p.56

言語リテラシー科目、情報リテラシー科目の2つの科目群から最低4単位以上修得しなければなりません。

#### 言語リテラシー科目

1年次に「キャリアアップ英語Ⅰ・Ⅱ」(各2単位)が開講されます。クラスが指定されているので、「2025年度開講科目表」の指定クラスの欄を確認の上、登録してください。各クラスの定員は30名となっており、定員をオーバーした場合は選考を行います。2年次には「キャリアアップ英語Ⅲ・Ⅳ」、「Project-Based EnglishⅠ」、3年次から「Communication Skills for WorkⅠ・Ⅱ」が履修可能になります。自分のキャリア形成について早い段階から意識し、計画的に履修してください。

また、2026年2月頃に2週間ほどフィリピンの大学に滞在して学ぶ、「海外事情(アジアと女性)」が開講予定です。2025年9月頃に募集説明会を実施しますので、興味のある方は参加してください。

#### 情報リテラシー科目「情報リテラシー実習Ⅰ～Ⅴ」(2年次以降開講)

社会システム学科では、情報リテラシー科目を重要な基礎ツールの一つと位置づけており、体系的に科目をそろえています。下記科目体系、内容を参照の上、計画的、積極的な履修を推奨します。

情報リテラシー実習Ⅰ	表計算ソフト(Excel)を活用し、豊かな情報処理力を養う。
情報リテラシー実習Ⅱ	マルチメディアを活用し、Webサイトを通して魅力ある情報発信能力を身につける。
情報リテラシー実習Ⅲ	PowerPointを修得しプレゼンテーション力向上を図るとともに、マルチメディアの扱いに慣れる。
情報リテラシー実習Ⅳ	プログラミングソフト(Scratch)を使ってプログラミングの基礎能力を身につける。
情報リテラシー実習Ⅴ	データベースソフトのアクセス(Access)を使用して、データベースの処理技法から設計までを身につける。

※これらの科目は、教職課程の選択必修科目であり、上級情報処理士の資格科目にもなっています。免許・資格取得については、「2025年度免許・資格関係履修要項」を参照ください。

## 3. 選択科目

### 「応用・各論科目」のコース科目の履修→履修要項p.54

2年次にコース科目を履修する場合、その科目に対応した基礎科目である「概論科目」を履修しておくのが望ましい。

(例) 2年次で「観光社会論」を履修する場合、1年次で「京都観光学概論」を履修する。

2年次で「都市経済学」を履修する場合、1年次で「経済学概論」を履修する。

## 2025年度入学生

なお、コース科目は卒業までに44単位以上、そのうち自分が所属するコース（主専攻）から14単位以上修得することが卒業の要件です。

所属するコース（主専攻）は、**1年次の終わりに6コースから選択**して決定し、**2年次からコースに所属**します。主専攻に加えて、**3年次からは、2つ目の所属するコース（副専攻）を選択して申請**することが可能です。副専攻は、そのコースから14単位以上修得すると、修了となり『修了証』が授与されます。

なお、主専攻は必ず決定して、14単位以上の修得が必要ですが、副専攻の選択（複数選択可）は任意です。コース選択や応用・各論の科目の履修を見据えて概論科目を選択してください。

また、6コースにある「プロジェクト演習Ⅰ」は2年次から履修が可能です。実際に現場に赴き様々な課題について解決策を考え実践的に学ぶ授業です。**1年次3月に説明会**を行います。興味のある方は参加してください。

（例）2年次で「京都学・観光学コース」を選択（主専攻のみ）→選択したコース科目14単位以上修得する。

2年次で「京都学・観光学コース」を選択（主専攻）、3年次で「ビジネス・AIコース」（副専攻）を追加。

→2つのコース科目をそれぞれ14単位以上修得する。

2年次で「京都学・観光学コース」を選択（主専攻）、3年次で「ビジネス・AIコース」（副専攻）、「公共政策・法コース」（副専攻）を追加。→3つのコース科目をそれぞれ14単位以上修得する。

### 共通学芸科目 →履修要項p.57

必修科目や選択必修科目等の時間割を入れ、空いている時間割に、「共通学芸科目」の中から興味ある科目を選択し登録してください。最低10単位以上修得することが卒業の要件です。

共通学芸科目として他学科科目も履修することができます。履修できる科目は「2025年度現代社会学部履修要項」に記載されているので確認してください。

### 区分外領域

各科目区分の必要最低単位以外に最低18単位以上を修得しなければなりません。

区分外領域の単位として卒業必要単位に算入できる単位は次の通り。

- (1) 各科目区分の最低必要単位数を超えて修得した単位（オーバー単位）
- (2) 同志社大学互換科目の履修により修得した単位
- (3) 金城学院大学互換科目の履修により修得した単位
- (4) 大学コンソーシアム互換科目の履修により修得した単位
- (5) 奈良県立医科大学互換科目の履修により修得した単位
- (6) 放送大学科目の履修により修得した単位

### その他の単位認定

(1) 文部科学大臣が定める学修等による単位認定

TOEFL、TOEIC、英検、国連英検等の成績によっても単位が認定されます。

(2) 海外および国内協定大学等で修得した単位等の認定

海外および国内協定大学または認定大学で修得した単位は、卒業に必要な単位として認定されます。

#### 4. 英語統一試験（TOEIC-Bridge）受験について

英語の1年次必修科目である「Comprehensive English I・II」「Communication in English I・II」では、授業の一環として、英語統一試験（TOEIC-Bridge）のオンライン受験が全員必須となっています。

○実施日時（予定）

2025年11月中旬～下旬

※秋学期開始後、マナビーおよび授業内で詳しい実施日時や受験方法等について周知されますので、必ず確認するようにしてください。

上記試験の成績（スコア）は、2年次必修科目「Academic Reading and Discussion I・II」のクラス分け（CASE除く）に使用します。

#### 5. 教職課程の履修を考えている人

例年1年次の秋学期に教職課程に関する説明会があります。教職課程の履修を考えている人は、免許・資格課および学科からの説明会に関する案内をマナビーで確認し必ず参加するようにしてください。

社会システム学科では、中学校教諭一種免許状「社会」と高等学校教諭一種免許状「公民」および「地理歴史」が取得可能です。教職免許状取得のための必修科目のうち1年次から履修できる科目「日本国憲法」「経済学概論」「法学概論」「ヨーロッパの歴史と文化A」「体育実技A・B」等多数ありますので、「2025年度免許・資格関係履修要項」を参照のうえ、計画的に履修してください。

※2025年度入学生は、「倫理学概論」ではなく、「現代社会と宗教」（応用・各論科目：ライフデザインコース2年次以上履修可）が必修科目となります。

#### 6. 博物館学芸員課程・図書館司書課程

1年次の春学期に博物館学芸員課程・図書館司書課程に関する説明会があります。課程の履修を考えている人は、説明会に関する掲示を確認し必ず参加するようにしてください。1年次から履修できる課程の科目もありますので、「2025年度免許・資格関係履修要項」を参照のうえ、計画的に履修してください。

#### 7. TOEIC 試験受験について

学生各自が、できるだけ早い段階で自分の英語運用能力を知り、今後の勉強に生かすことを目的に、現代社会学部主催のTOEIC試験を実施しています。（在学中に1回のみ無料。現代社会学部独自の補助制度）

TOEICのスコアが600点を超えると、教務課で所定の手続きを経れば、「TOEICⅠ～Ⅲ」の各2単位が認定されます（履修要項参照）。

また、大学にはeラーニングソフト『スーパー英語』が導入されています。TOEICやTOEFLのスコアアップを目的としたオンライン英語自習ソフトです。

学内のみならず、学外からもアクセスできるので自宅学習に最適です。大学のアカウントとパスワード（情報処理教室のパソコンにログインする際のアカウントとパスワード）を入力してログインします。

#### スーパー英語

英語教材ソースを4スキル（リスニング、リーディング、文法、語彙）、さらに3グレードのレベル別に編成されています。講座のコンテンツは、約700時間の学習量に相当します。Macでも利用できます。

※使用方法等は、情報教育環境ガイドブック「ViVit」をご確認ください。

## 8. 各種研究会

現代社会学会では、各種研究会のバックアップを行っています。それぞれの研究会には、1人あたり2,000円の研究補助を実施しています。またコース研究室には、その分野の資格試験資料等を配備しています。現在、以下の研究会が活動しています。関心のある人は現代社会学会事務室まで問い合わせてください。

「法律研究会」「経済研究会」「中国文化研究会」「みらい・まちづくりファクトリー」  
「こどもふれあい研究会」「国際教育支援研究会」「サステナブル研究会」  
「プレイフル・マルシェ研究会」

## 9. その他注意事項

- ・年間49単位、1学期間の上限は28単位と定められていますが、上限まで科目をつめこみ過ぎないようにしてください。授業時間以外の事前学習、課題取組などの自主学習の時間も考慮して履修登録を行ってください。
- ・必ず春学期、秋学期の両学期の履修登録を4月に行ってください。
- ・自分が登録した科目が正しく登録されているか、Web教務システムの履修確認画面で必ず確認してください。京田辺、今出川の両キャンパスで開講している科目がありますが、科目コードが異なりますので間違いのないように履修登録を行ってください。また、両キャンパスの科目の履修については、連続した時間割で登録することはできません。移動時間として1講時分を空けて登録してください。
- ・遠隔授業オンデマンド型の科目は、全授業がオンデマンド型動画配信でも、定期試験は対面（教室）で行われる科目がありますので、試験方法を担当教員に確認してください。
- ・必ず履修確認画面をプリントアウト（Ctrl+P）し、保管しておいてください。
- ・登録人数が多い場合、登録削除（強制削除）される場合があります。強制削除はWeb教務システムで周知しますので、各自確認をしてください。また、強制削除が行われた科目で履修許可された受講生は、**修正登録期間にその科目を削除することはできません**のでその点もご注意ください。
- ・履修登録は必ず履修登録期間中 **4月3日（木）10:00～4月7日（月）17:00に完了**するようにしてください。

連絡事項は、マナビーによりおこないます。（マナビーコース名：社会システム学科 2025年度生）  
各自リマインダ設定を行うなど、確認漏れのないように注意してください。

個別で連絡する場合は、大学のメールアドレス(ab12345@dwc.doshisha.ac.jp)に連絡します。  
Microsoft365「Outlook on the web」で受信が確認できるようにしておいてください。

\*授業が始まると演習クラスなどによってはMicrosoft Teamsで連絡事項や課題提出が行われる場合があります。担当教員の指示に従ってください。

※その他不明な点は、現代社会学部事務室に相談すること。

2025年4月 現代社会学部事務室